

○15番 岡田蒼和君

行橋中学校3年、岡田蒼和です。私は、学区制の統一について質問します。

先日、自分の学校であった進路説明で、初めて自分の志望高校が学区外で試験を受けない、ということを知りました。思ってもいなかったことなので、大変衝撃を受けました。

現在、全県一学区制を取っているのは、東京都、栃木県、群馬県、千葉県、神奈川県、山梨県、長野県、福井県、岐阜県、静岡県、奈良県、和歌山県、岡山県、広島県、徳島県、愛媛県、佐賀県、長崎県、宮崎県の19県もあるそうです。ちなみに福岡県は、学区制が特に厳格で、13学区もあることで知られているそうです。

後輩たちが私と同じような思いをしないで済むように、全県一学区制にすることはできないのでしょうか。せめて京築から北九州くらいの距離まで学区を広げることはできないのでしょうか。またその提案を県に伝えていただくことはできないのでしょうか。ご検討を、よろしくお願いします。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

岡田議員のご質問にお答えします。

福岡県では、現在、県立高校の入学者選抜における学区制度は、福岡県が定めている制度であり、行橋市が変更することは、基本的にはできません。

福岡県では、県内の地域ごとの生徒数や学校の配置、通学時間や通学の安全性などを総合的に勘案し、現在の13の学区が設けられています。これは、できるだけ多くの子どもたちが安心して通学し、それぞれの地域で学ぶ機会を確保することを目的とした制度であります。

一方で、議員がおっしゃるように、自分の夢や希望に合った高校を選びたい、という思いも、大変大切なものだとして受け止めています。市内の中学校では、生徒一人一人が自分に合った進路を選択できるよう、進路指導や情報提供の充実に取り組むとともに、生徒や保護者が十分に相談しながら納得して進路を選択できるよう支援してまいります。

また、加えますと工業や商業、それから農業など、専門的な学校については、全県下受験が希望できるという制度にもなっていますので、そこについて、また中学校にご相談していただければと思います。

○前半議長 和嶋富夏君

岡田議員。

○15番 岡田蒼和君

今回、この質問を考えるために、自分でも福岡県の学区制度について調べました。子ども議会は、子どもたちが市政について考え、意見を伝える貴重な機会だと思います。

今後も、私たち子どもの意見を市政に生かしていただくため、このような機会を継続して設けていただけますか。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

ご質問ありがとうございます。今回のように自ら課題を見つけ、調べ、考えた上で意見を述べていただいたことを大変うれしく思います。

子ども議会は、子どもたちの率直な思いや提案を伺い、市政に生かしていくための大切な機会であります。本日いただいた意見についても、今後のまちづくりや教育行政の参考とさせていただきます。

これからも、未来を担う子どもたちの声を大切にし、皆さんが市政に参加できる機会づくりに努めてまいります。以上であります。

○前半議長 和嶋富夏君

市長。

○市長 工藤政宏君

すみません、私のほうからも答えさせていただきます。

本当に切実なお悩みだと思うんですね。いま教育委員会のほうから答えさせていただきましたけれども、まず学区については様々な見方がございますので、より深い議論が必要なのかなと私も思っています。

今ご質問いただいた、こういった機会を継続して設けてくれるか、というところなんですけれども、もちろんでございます。子ども議会だけではなくて、今後、まだいつになるか未定ではありますが、議会というかたちじゃなくて、もっとざくばらんなやり取り、気軽にお茶飲みながらとか、ちょっとお菓子をつまみながらできるような、若者と、私なんかも入ってですね、若者会議というか、そういったものをつくっていききたいなと思っております。

それから、ちょっと時間がないので、市長公室長に言ってもらおうと思ったのですが、我々の市長公室、秘書課のほうで、まちかどトークという受け皿を用意しています。これはテーマを設けて、呼んでいただければ私が伺います。そしてそこで議論をする。そういったまちかどトークという受け皿がありますので、市に問い合わせいただければ、そういったものを使ってお話をすることもできます。

あとは、子ども議員の皆さん方ですから、アポを取っていただければ、市長室に来て

いただくことが可能です。ぜひとも、ちょっと工藤市長と話したいと、こういったことをどう思いますか、ということで、何かあればですね、これ冗談じゃなくて、本当にそう思っています。子ども議員をやりました何々です、ということで、秘書係のほうに問い合わせただければ、そういった時間を設けさせていただきます。関係所管も呼んで、お話をさせていただきたいと思いますので、何かあったらおっしゃってください。

以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

岡田議員。

○15番 岡田蒼和君

ありがとうございました。次の質問に移ります。

次に、男女別の更衣室の設置について質問します。私の通っている行橋中学校には更衣室がありません。そのため、体育で着替えるときに不便を感じたり、周囲の目が気になったりすることがあります。私も実際に着替える場所がなくて、困った経験があります。また、友人たちからも、着替えをする場所がなくて、利用しづらくて恥ずかしい、という話を聞いたことがあります。

男子は教室の隅のほうやトイレで着替えたりしているようなので、衛生的にもよくないと思います。

そこで、男子の更衣室を設置したり、安価で簡易的なスペースを設置したりすることはできないのでしょうか。ジェンダーに敏感な現在なので、このようなかたちで生徒のプライバシーを守っていただくことはできないのでしょうか。ご検討をよろしくお願いします。

○前半議長 和嶋富夏君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

議員からの男女別の更衣室の設置についてのご質問にお答えします。

市内の中学校では、十分な更衣スペースが確保できておらず、生徒の皆さんが不便や不安を感じていることについては、教育委員会としても認識しております。

体育の授業などでの着替えについては、プライバシーへの配慮や衛生面、安全面を確保することが必要であり、生徒が安心して学校生活を送るための環境づくりの観点から、大変重要であると考えております。

一方で、更衣室の新たな設置につきましては、学校施設の構造や利用状況、改修費用などを総合的に検討する必要があります。そのため、まずは各学校の実情に応じて、空き教室や多目的室及び体育館の更衣室などを活用した更衣スペースの確保や、また議員

からもご提案いただいた、パーテーションやカーテンなどを利用した簡易的な更衣環境の整備についても、学校と協議しながら検討を進めてまいりたいと考えております。

今後も生徒の皆さんの意見や学校現場の状況を踏まえながら、誰もが安心して学校生活を送ることができる教育環境の充実に努めてまいりたいと思います。以上です。

○前半議長 和嶋富夏君

岡田議員。

○15番 岡田蒼和君

前向きな回答を、ありがとうございます。できる限り早く実現するように期待します。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。